

令和4年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

理数分野に強く興味・関心を有し、次のア～ウのすべてを満たす生徒

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に高い向上心をもって取り組むことができること。

イ 他者の考えを的確に理解し、かつ、自分の考えを明確に発信できる力をもつこと。

ウ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に積極的に取り組む意志があること。

2 選抜資料

| | |
|-----------------|--------------------------|
| (1) 学力検査 | 5教科の学力検査の得点 |
| (2) 調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| (3) 学校設定検査(小論文) | 字数：500字以上600字以内 検査時間：50分 |

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

| 評価項目 | 評価基準 |
|----------|-------------------------------|
| 5教科の得点合計 | 5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。 |

(2) 調査書〔150点満点〕

アの数値に、イについて加点(上限15点)したものを調査書の得点とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------------------|--|
| ア 教科の学習の記録 | 各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 |
| イ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項 | 生徒会活動、部活動、その他の活動等における顕著な実績などについて加点する。 |
| ウ 総合所見 | 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 |

(3) 学校設定検査(小論文)〔10点満点〕

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)・d(未解答)の4段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a a～d d d)で得点化する。dを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|-----------|---|
| ア 字数・全体構成 | <ul style="list-style-type: none"> 決められた字数に収まっている。 文章が完結している。 指示に従った原稿用紙の使い方をしている。 |
| イ 内容・文章表現 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の主張・考えがきちんと書かれている。 題意に則した内容になっている。 |

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（小論文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

| 学力検査 の得点 | 調査書の得点 | | 学校設定検査の得点 | 総得点 |
|-------------|---------|-----|-----------|------|
| | 評定（K=1） | 加算 | 小論文 | |
| 500点 | 135点 | 15点 | 10点 | 660点 |

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。